

教科	科目	学年	単位数
教養科学	国際日本	2 (一貫探究文系、一貫文系、 探究文系、人文・社会系)	1
使用教科書		副教材	
英語コミュニケーションⅡに準ずる英語探究Ⅱに沿って本科目の学習目標に適する素材を適宜用いる		英単語ターゲット 1900 (旺文社)、 Next Stage (桐原書店)	

1. 学習目標

1＝これまでの本校の修学旅行、国際文化交流、海外語学研修等において本校と特に馴染みの深い様々な国々の文化、経済、歴史、風習、伝記等を学び日本を含む世界へ目をむけ、

2＝英語を読み、書き、聞き、話す等のさまざまな言語活動を通じ、英語の運用の「基礎」となる精読力、速読力、構造理解力、解釈力、文法力、聴解力、語彙力、発信力、受信力、解答力等を養い、

3＝教養と英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。

2. 評価

1＝知識・技能 2＝思考力・判断力・表現力等 3＝学びに向かう力・人間性等
を定期試験、課題テスト、朝テスト、小テスト、模擬試験、提出物、学習姿勢、学習意欲、授業態度等を基準に総合的に評価する（よって、定期試験が同点の生徒同士でも評価が異なることがある）。

3. 学習内容

A＝教養

担当は地理歴史科又は公民科教員。

1＝本校と関連の深い各国の文化、歴史、地理、風習等。

2＝上記に関連するトピックや発展事項等。

3＝本校の国際文化交流や海外修学旅行等における事前学習等

B＝言語

担当は英語科教員及びALT。

1＝語彙に関する事項：コミュニケーション英語Ⅰ及び英語探求Ⅰの全単語に加え700語程度の新語。

2＝文構造に関する事項：文構造のうち運用度の高いもの。

3＝文法に関する事項：以下の文法事項の基礎、標準項目から一部の発展項目。

時制、助動詞、態、不定詞、動名詞、分詞、接続詞、関係詞、比較、仮定法、特殊構文、会話表現等
上記いずれもコミュニケーション英語Ⅱに準ずる英語探究Ⅱの進行度合いに合わせる。

C＝本校との関連

担当は地理歴史科教員（又は公民科教員）及び英語科教員

1＝トピックとなる国々との本校との関係、歴史、経緯、将来像等。

注）当科目は英語科と地理歴史科又は公民科との教科横断型科目である（かつ、ALTとのTTで行う）。

4. その他（科目の特徴や学習の注意点など）

学習方法の詳細については各担当者からその都度説明があるのでそれに従うこと。

	単元	授業内容	その他（到達目標・学習のポイントなど）
1 学期	01-JAPAN 02-CHINA 03-AUSTRALIA 04- AMERICA=01 05- AMERICA=02	日本を含めた世界の国々のトピックを「言語」と「教養」と「本校との関連」の視点から取り扱う。 ①言語＝A L T 及び日本人英語教師の T T により世界言語としての英語をライティングや音声言語活動を中心に学ぶ。 ②教養＝S S T 及び日本人英語教師により各トピックカントリーの総まとめを行い、及び英語の教養として演説、名文、詩歌などを味わう。	A＝学習のポイント この科目は地理歴史科や公民科（教養部門）と英語科（英語部門）の横断科目です。視点として大切なのは 1－事実（fact） 2－意見（opinion） です。 「事実」をインプットして、それについての自分だけの「意見」をアウトプットする。これを行うためにリーディング、ディクテーション、シャドーイング、ライティング、グループワーク、プレゼンテーション等の活動を行います。同時にそのトピックについて、日本語による講義も行われます。その際に様々な「教養」を吸収しそれらに対する自分の考えを「英語」で表現していくことで言語の4技能の定着をめざしていきます。そのため前提となる英語の力をまずは日々しっかり磨きましょう。せっかく「教養」が身についたのならそれを「英語」で発信したいところです。
2 学期	06-AMERICA=03 (including Canada) 07-TAIWAN-1 08-TAIWAN-2 (including the preparation for school trip)	③本校との関連＝S S T により、本校とトピックカントリーとの関連について学ぶ。 07,08 は修学旅行先の変更等によって適宜変更する。	B＝到達目標学力 1－各国の概要の理解とそれに対する考えの醸成。 2－探究系： CEFR＝A2～B1 一般系： CEFR＝A2

3 学 期	08-South America and other countries 09- OTHER TOPICS 10-OTHER TOPICS		～補注 1～ 台湾、シンガポール、アメリカ、中国、オーストラリア等は修学旅行、学校間交流、語学研修等において本校と特に関係の深い国々です。これらの機会及び将来においてぜひこの科目で養った教養を前提知識としてぜひ役立ててください。 ～補注 2～ 定期試験は各学期末のみ実施されます。
-------------	---	--	--

*当シラバスは生徒の現状や実態等に配慮しながら変更することがある。また科目の目的を達成するために必要と思われる時はテキスト以外の教材に差し替えることがある。